

日本語部門総評

全体的に、勉強されて臨まれた動画が多く、話し方も、話の内容も、わかりやすく、アピール力が増しているようです。3分間という制約の中で、専門外の方へどう伝え、どう理解してもらうのか、自身の研究内容を簡潔に、表現も語り口調でわかりやすく工夫され、表情豊かに話される方が多くみられました。皆さんが本当に自分の研究が楽しいと感じていることが伝わってくるような内容が多く、外国人留学生の方が日本語で上手に説明されているのにも驚かされました。実現できれば世界の人々に役に立つ大きな研究や、身近な研究まで様々なものがあり、是非、実現を目指して取り組んでいただくとともに、皆さんの今後の成長とご活躍に期待しています。

アドバイス

- 研究の目的を総合的に説明することは、概ねすべての発表者ができている中で、専門用語を極力減らし、自分自身の研究手法と研究結果を明確に、魅力的に語る事ができていることが、高評価につながります。
- 自身の研究の社会的価値、現状(難しさ)、解決のポイント、研究の独自性を端的に説明することや、研究成果やそのアウトプットを明確にすることも必要です。
- 一方で、投稿動画の中には、プレゼン時間が3分を超過するもの、スライドがないものや複数枚あるものなど、応募ガイドラインに沿っていないものが複数ありましたので、規定は必ず遵守するようにしてください。
- また、一般的な解説のような発表になってしまっているもの、リサーチクエスションにたどり着くまでの前置きの話が長いもの、専門用語や横文字が多いもの、自身の研究と先行研究との違いが分からないものなども見受けられました。
- 発表の導入部分で、自分の研究が世の中の人(家族や知人、友人)にどのように関係するものなのかをわかりやすく説明できると、後続の発表内容も聞きたいと思わせることができるかもしれません。
- そして、発表者自身がどれだけ自分の研究が好きか、興味を持っているのかが伝わることも重要です。その際、笑顔や声でも印象が変わりますし、自然な表情や身振り手振りを入れて工夫してみましょう。